

## 総務常任委員会 行政視察報告書

平成24年10月25日の行政視察について、下記の通り実施しましたので報告します。

### 記

視察日 平成24年10月25日（木）

参加者 北尾 修、阪口 勇、食野雅由、川岸貞利、田崎妙子、阪口芳弘  
田畑庄司 事務局 川岸順子  
谷川 順三 教育部長、井出 博 教育部参与  
鈴木 司郎 学校人権教育課長

視察先 大阪府堺市 教育センター

目 的 教育センターについて



堺市教育文化センター（ソフィア堺）

### 【初めに】

10月25日午後1時40分、堺市教育文化センターに到着。センターの4階セミナールームにて、山之口教育センター所長より堺は小学校94校・幼稚園10園・中学校43校・特別支援学校3校・高校1校の計151校園があり、児童生徒数約7万人、教師は約4,500人であることや、教育センターの概要などを紹介した挨拶を受けました。その後、教育文化センターの施設内を案内して頂きました。

堺市教育文化センター（ソフィア堺）は、中区の文化会館・中区の図書館・平和人権資料館などが一緒になった複合施設であり、最新式のプラネタリウムも完備している、市政100周年で建設されたとのこと。教育センターは、科学教育センターと教育研究所を統合し、この施設の中に移転、4階に事務局や相談室、5階に科学関係の実験室や研修室を持っている。

教職員の研修会は必要に応じて、市民と同じく申請し使用料を支払って、ソフィア堺の研修室などを借りているとのことでした。



## 【教育センターの業務内容】

6 グループに分かれている。

### ◆庶務グループ（5名）

- 教育センターの庶務に関すること
- 堺市教育文化センターの管理運営に係る庶務に関すること

### ◆研修グループ（8名）

- 教職員の研修事業に関すること。
- 養成・採用・研修の一貫した若手教職員の育成に関すること。
- 学校における校内研修の指導及び助言に関すること。
- 教育情報資料の収集、保存及び配布に関すること。
- 教科書センターに関すること。
- 「堺・教師ゆめ塾」に関すること。
- その他、今日的教育課題に関すること。

### ◆科学教育グループ（6名）

- 理科における教職員研修に関すること。
- 学校における理科教育に係る相談、指導及び支援に関すること。
- 理科支援員配置事業に関すること。
- 市民科学教育振興事業に関すること。
- プラネタリウム、全天周映画及び天体望遠鏡の管理運営に係る指導及び監督に関すること

### ◆情報教育グループ（4名）

- 学校における情報教育に係る相談、指導及び支援に関すること
- 教育情報ネットワークの構築、運営及び維持管理に関すること
- 学校園におけるネットワークおよびICT機器に係る整備、保守等に関すること。

### ◆教育相談グループ（ソフィア教育相談・ふれあい教育相談）（10名）

- 教育相談（面接相談・グループ活動）に関すること。
- 電話教育相談に関すること。
- 教育相談等の教職員研修に関すること。
- 教育相談に係る関係機関等との連絡調整に関すること。

### ◆適応指導教室グループ（適応指導教室・適応指導教室 美原分室）（14名）

- 適応指導教室に関すること

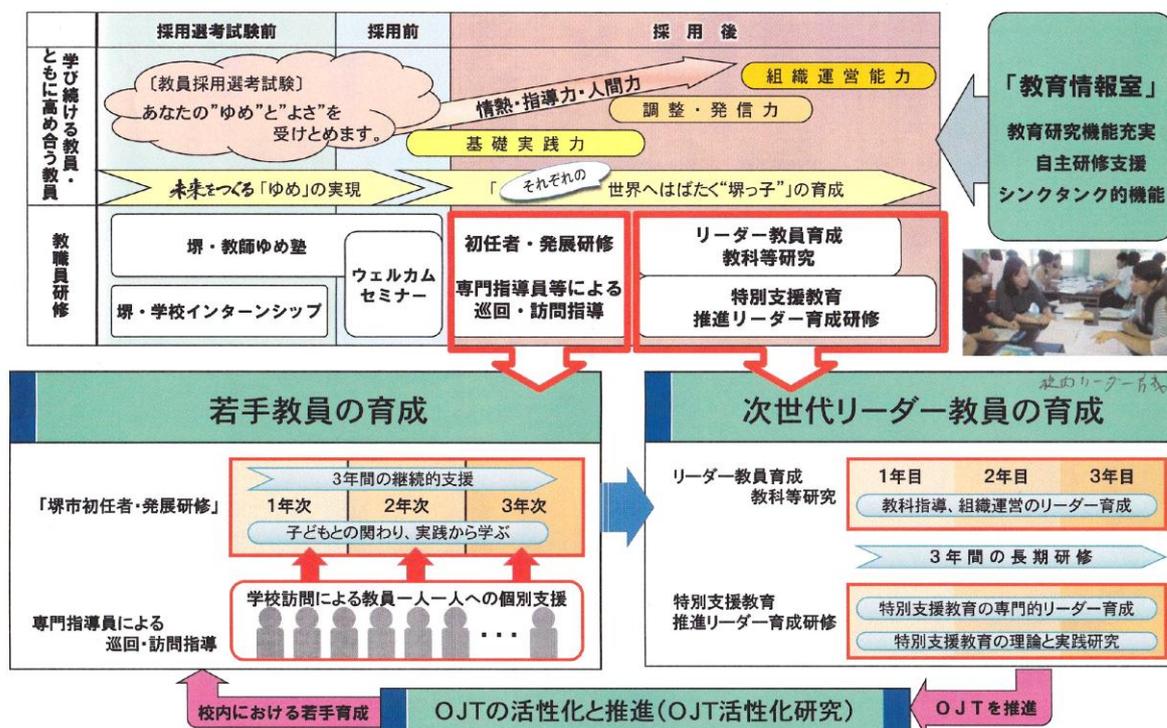
以上のように堺市教育文化センターでは、教職員の研修・校内研修・調査及び研究・教育情報資料の収集、保存・教育相談・適応指導教室の運営のように幅広く、「世界には

「ばたく塚の子」、「教育は人なり」をスローガンに、取り組んでいます。

その中で、特に研修グループについて、研修グループのリーダーであり、教育センターの総括指導主事でもある安井茂喜氏より、詳しく説明して頂きました。

## 教職員研修事業「教師が育つ学校、教師が育つ塚」

□塚独自の養成・採用・研修システム ～「学び続ける教員」「ともに高め合う教員」の育成～



「情熱」「指導力」「人間力」をそなえた教職員づくりとして、三つの期間に分けた研修〈養成・採用期〉

- 「塚ゆめ塾」
  - 塚市立の教員を志望する大学生、社会人等を対象に優秀な人材育成する。
  - 10月開校～翌年6月まで開催 31 講座
- ウェルカムセミナー
  - 塚市の学校教員採用試験合格者に対して、12月～3月の間で4回開催、4月から教師として自信と熱意をもって働ける準備とヒントを与える。
  - 希望者対象とのこと

〈教職員経験前期〉

- 初任者・発展研修
  - 子どもと近い場所で学習指導と子ども理解の基礎実践力を学習
  - 3年間ゆとりを持って研修していくプログラムとなっており、子どもとふれあう時間づくりを大切にしているものとなっている。

〈教職員経験中・後期〉

- 10年経験者研修
- リーダー研修
- 管理職研修

〈その他、各期間に対応して〉

○専門指導員の巡回訪問

「その時、その場で、相談・解決」のため、22名の専門員が生徒指導、教科指導などすべてに対応、きめ細かな相談支援を行っている。

専門員は、OB職員を嘱託職員として再雇用しているとのこと。

○リーダー教員育成

校内研修の充実をめざし、

- ①教科等専門リーダーコース
- ②生徒指導リーダーコース
- ③特別支援教育推進リーダー育成研修

とあり、3年間をかけ各学校内の研修を向上させるためのリーダーづくりを行っている。

【質疑・応答の内容と感想】

教育センターの業務とその他の教育委員会の業務との関係と連携については、教育センターは学校教育部のひとつであり、主に教職員の研修・育成を行う部署となっているとのこと。

他の部署との連携は重要で、特に学校現場のニーズにあった研修や取り組みを行うため連携を深め、研修計画を立てている。研修を行うたびにアンケートを取り意見の吸い上げも行っているとのこと。

課題としては、施設を持つと管理する必要があるとあり、教職員だけでは苦勞するとのこと。センター施設を持つときは、館の維持管理事務は誰が行うのか詰めておく必要があるとのことでした。

また、ICT化を進めており、教育専用のネットを構築し文章の電子化や指導要領、成績なども電子化と情報の共有化を図って行く予定だそうです。

堺市は政令指定都市で教職員も市独自採用であるため、より教職員の教育研修に力を注ぐことを行っていると考えるが、今回の視察で貝塚でも教育研究センターの設立に当たっては、堺市のように多くのことはできないが、学校と連携し教職員の「教師力」を高め、「学校力」を高めるための研究・研修・指導ができるものにすべきであると感じた。そのためのシステムと人が必要であることは言うまでもなく、堺市の「学び続ける教員」「ともに高め合う教員」育成のプログラムは、大変参考になりました。